



# 男性にも



## 男女共同参画社会とは？

その昔、一家に親子や祖父母、きょうだいとその家族などがひとつ屋根の下で生活することが自然であった時代には、「男が主、女が従」という考え方がありました。

その後、会社勤めのサラリーマンが増え、核家族が進んだ時代となり「男は会社で仕事、女は家庭で家事や子育て」という考え方が広まりました。現在でもそのように考える方がいるかもしれません。

しかし、最近では共働きの家庭が増え、そのような家庭では「男が仕事、女は家庭」の考え方はあ

てはまらなくなっています。家庭や社会のあり方も変わりつつある中で、私たちは時代にあった新しい考え方を持つことが大切です。

「男女共同参画社会」という言葉聞いたことがありますか？

男性と女性が、自らの意思によって職場や学校、地域、そして家庭など、社会のあらゆる分野で活動に参画する機会があり、それぞれの個性と能力を発揮できると、そして、共に責任を担い、均等にその利益を受ける社会、それが「男女共同参画社会」です。



## なぜ、男女共同参画なの？

近年は、独身でいることに利点がある、結婚式を挙げたいが資金がないなど、さまざまな理由により未婚・晩婚化が進んでいます。

また、結婚して子どもを授かりたいけれど「出産・育児への資金が足りない」「核家族のため育児のことで身近に頼れる人がいない」「仕事との両立ができるか」、

といった不安を抱えている方の多いことが、少子化を進める要因のひとつになっています。

出生数が減る一方(図1)、65歳以上の方は年々増えています。その結果、人口全体に占める65歳以上の方の割合(高齢化率)は、約40年後には40%を超えると推計されています。